

**日本分析化学会九州支部**

**支 部 ニ ュ ー ス**

---

---

**第 30 号 2014 年 8 月**

九州支部ウェブサイト

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)

2014 年度 日本分析化学会九州支部  
〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1  
九州大学大学院農学研究院食料化学工学講座内

# 支部活動報告

## ❖ 2014 年度 第 1 回常任幹事会 ❖

2014 年 6 月 21 日（土）、九州大学農学部 4 号館 610 号室において日本分析化学会九州支部 2014 年度第 1 回常任幹事会が開催されました。議事録については準備ができ次第、支部ウェブサイトに掲載いたしますのでご覧下さい。

## ❖ 第 27 回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
世話人：九州大学大学院農学研究院 野間 誠司

2014 年 5 月 17 日（土）、九州大学箱崎キャンパス農学部 4 号館 110 番教室において、第 27 回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長の挨拶に始まり、以下の 4 名の先生方にたいへん興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期 2015 年（第 28 回）の春の講演会世話人である石岡寿雄先生（九大院総理工）と、2014 年夏に開催予定の第 32 回夏季セミナー世話人である森健先生（九大院工）から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には 91 名、情報交換会にも 22 名の参加者がありました。

### 講師・講演題目

- ・二枚貝の声を聞く一般体運動測定装置「貝リングル」－  
（九大院農）島崎 洋平 先生
- ・細胞分裂における微小管ダイナミクスに関わる azide の新たな標的分子＝20 年来の問題の決着と研究室の know-how＝  
（甲南大 FIRST）西方 敬人 先生
- ・MALDI-MS を基盤とした代謝プロファイリング技術の開発  
（九大レドックスナビ）藤村 由紀 先生
- ・マイクロガス分析システム  $\mu$ GAS によって解き明かす大気中 HCHO の動態（生成・消失・PM2.5）  
（熊大院自然）戸田 敬 先生

## ❖ 2014 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、九州大学大学院農学研究院の下田満哉教授が 2014 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「香気成分の動態と香りの評価に関する分析化学的研究」です。

おめでとうございます！

下田先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

## ❖ 2014 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2014 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の 3 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

### 受賞者・受賞題目

- ・劉 蓉 氏（九州大学大学院工学府化学システム工学）  
「Development of photometric and fluorometric detectors assembled with an organic light emitting diode and an organic thin film based photodiode and its application on flow analysis」
- ・前野 真実子 氏（九電産業㈱環境部分析センター）  
「 $\delta$ -MnO<sub>2</sub> に吸着した Au と Pt 錯陰イオンの化学状態分析」
- ・曹 汝 鶴 氏（九州大学大学院生物資源環境科学府）  
「The application of diffusion ordered-1H-nuclear magnetic resonance spectroscopy to evaluate the food quality」

❖ 第51回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(公社) 日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部  
期日：2014年6月28日(土) 9:00~17:00  
会場：北九州国際会議場および AIM ビル

分析化学関係の依頼講演

・竹中 繁織 先生 九州工業大学大学院工学研究科  
「電気チップで癌を調べる：Electrochemical  
Telomerase Assay(ECTA)による口腔癌診断法  
の開発」

プログラム：

ポスターセッション(分析化学分野 11:20 - 12:20)

AC-3-001~AC-3-068 まで計 68 件

他のセッション等については、大会ホームページ  
(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) をご覧下さい。

2014 年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の5名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

・福澤 将史 君(九大院工)「フラビン誘導体およびイソアロキサジン誘導体による半導体性単層カーボンナノチューブの選択的可溶化における置換基効果の検証」

・江崎 有吾 君(九工大院工)「4本鎖特異的環状化合物(cNDI)の合成とDNAとの相互作用解析」

・村重 賢 君(九大院理)「ヒト血清アルブミンに対するナフトレンスルホン酸類の結合挙動の比較検討」

・相川 知和 君(九大院農)「高反応性カルボニル中間体及び終末糖化産物定量のための高感度LC-MS/MS法の構築」

・壹岐 彩香 さん(熊本大院自然)「シス型ジオール吸着性繊維の合成とキシロース吸着性能の評価」

❖ 第32回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
期日：2014年7月25日(金) - 26日(土)

会場：かんぼの宿北九州(北九州市若松区)

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

HP:<http://www.kanponoyado.japanpost.jp/yado>

/kitakyushu/

○招待講演1：藪谷智規先生(徳島大学大学院  
ソシオテクノサイエンス研究部)

「金属を含む化学種の分離・分析法の高度化」

○招待講演2：杉山直幸先生(京都大学大学院 薬  
学研究科)

「リン酸化プロテオミクスによるシグナル伝達ネットワーク解析」

○招待講演3：大平慎一先生(熊本大学大学院 自  
然科学研究科)

「電界下での泳動作用と膜透過による溶存イオンの  
検出・前処理・分離・濃縮」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表

○一般ポスター発表：(審査の結果、8名の方が選出  
されました。)

○総会

○情報・意見交換会

世話人：九州大学工学院応用化学部門 森 健

7月25、26日(金・土)の日程で、第32回九州分析化学若手の会夏季セミナーを北九州かんぼの宿にて開催いたしました。159名の参加がありました。藪谷智規先生、杉山直幸先生、大平慎一先生の3名の先生方より、招待講演をしていただきました。初学者にもわかりやすい、かつサイエンスを楽しんでいらっしやるのが良くわかる講演をしていただきました。



ベスト質問賞をもうけて、学生からの質問を奨励したところ、質問時間をオーバーするほど、質問が出るがありました。質問のレベルが概して高く、頼もしいかぎりでした。以下の4名が、質問賞を受賞されました。

大山 翼 君（九州大学大学院 薬学研究院）

新藤 敬悟 君（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

福澤 将史 君（九州大学工学研究院）

池田 広夢 君（九州大学システム生命科学府）

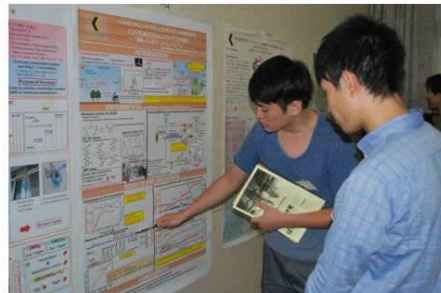
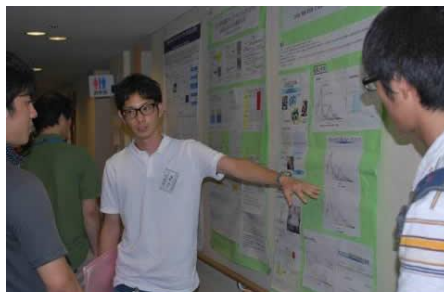


質問時間が限られるため、質問用紙を配布し、皆さんからの質問を集めて、演者の先生にお答えいただきました。本会のHPに掲載しておりますので、ぜひご参考ください



(<http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/wakate32/enraku.html>)。演者の先生方に感謝申し上げます。

初日は、化学関連でポスター賞受賞された以下の5名の方より模範ポスターによりはじまりました。良いポスター発表をするための工夫についても、説明がありました。座長いただいた先生方、どうもありがとうございました：井上先生（大分大）、岸川先生（長崎大）、貴田先生（九大）、浜瀬先生（九大）、大橋先生（九大）



「フラビン誘導体およびイソアロキサジン誘導体による半導体性単層カーボンナノチューブの選択的可溶化における置換基効果の検証」（九大院工）福澤将史君

「4本鎖特異的環状化合物(cNDI)の合成とDNAとの相互作用解析」（九工大院工）江崎有吾君

「ヒト血清アルブミンに対するナフタレンスルホン酸類の結合挙動の比較検討」（九大院理）村重賢君

「高反応性カルボニル中間体及び終末糖化産物定量のための高感度LC-MS/MS法の構築」（九大院農）相川知和君

「シス型ジオール吸着性繊維の合成とキシロース吸着性能の評価」（熊本大院自然）壹岐彩香さん

「シス型ジオール吸着性繊維の合成とキシロース吸着性能の評価」（熊本大院自然）壹岐彩香さん

上記の模範ポスターの後、一般ポスターを行いました。今回、85件の発表があり、16名の教員による審査の結果、以下の8名がポスター賞を受賞されました。今年は、英語発表のセッションも設け、7件の発表の中から、1名が受賞されました。

秋山 紗綾香 さん（九州大学農学研究院）

上田 祐生 君（佐賀大学工学系研究科）

西 彩里 さん（九州工業大学情報工学研究院）

薬師寺 寿世 さん（福岡大学薬学部薬品分析学）

彌永 輝 君（熊本大学 自然科学研究科）

近藤 敦典 君（九州大学総合理工学府）

石郷 翔人 君（九州大学薬学研究院）

Md Zahangir Hosain 君（九州大学システム生命科学府）：英語セッション





藪谷先生と杉山先生による招待講演の後、夕食の際には、各研究室の趣向を凝らした愉快的研究室紹介がありました。急ぎよ、司会を御願いしたにも関わらず、快く引き受けていただき、たいへん会を盛りあげていただいた大分大学の友成君と、九州大学の登君、どうもありがとうございました。今年は、ベストパフォーマンス賞の贈呈を忘れておりました。私としては、九大松井研のセーラー服によるパフォーマンス、九工大末田研のポケモンの熱唱、福大山口・能田研のAKBのダンスが良かったように思います。ホテルは貸切でしたので、夕食後は、明け方4時ごろまで、大学をこえて、熱い議論が1階ロビーでかわされておりました。

2日目は、大平先生の招待講演の後、九州支部奨励賞を受賞された3名の方による講演を行いました。さすが受賞者と思わせる完成度の高い発表でした。3名とも女性であり、また2名が中国からの留学生であり、英語での発表でした。外国人学生を力強くエンカレッジしたものと思います。



「The application of diffusion ordered-1H-nuclear magnetic resonance spectroscopy to evaluate the food quality」(九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門) 曹 汝鵬 さん

「Development of photometric and fluorometric detectors assembled with an organic light emitting diode and an organic thin film based photodiode and its application on flow analysis」(九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門) 劉 蓉 さん

「 $\delta$ -MnO<sub>2</sub>に吸着したAuとPt錯陰イオンの化学状態分析」(九電産業株) 前野 真実子 さん

本年度の夏季セミナーの運営に際して、九州支部からの助成に加えて北九州市コンベンションセンター及び多数の企業から助成金や広告費としてご支援を頂きました。感謝申し上げます。私の準備不足のため、受付が込みあったり、段取りが悪かったりと、いろいろと不手際があり、皆さまにご不便をおかけいたしました。大過なくおえることができました。皆さまのご協力に深く、感謝申し上げます。来年は、熊本大学の太平慎一先生がお世話をされ、阿蘇で開催される予定です。また多くの方にご参加いただきますよう御願いたします。

世話人 九州大学工学研究院 森 健

❖ 第55回 分析化学講習会 ❖

第55回分析化学講習会

主催 日本分析化学会九州支部

共催 福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会

期日 8月6日(水)～8日(金)

会場 九州大学伊都キャンパス

(〒819-0395 福岡市西区元岡744)

(福岡市産学連携交流センター、

〒819-0388 福岡市西区九大新町4-1)

講義 (8月6日, 9:30～17:00)

1. ガスクロマトグラフィー(九大院農) 下田満哉

2. 高速液体クロマトグラフィー

(九大院薬) 浜瀬健司

3. 原子・分子スペクトル分析法

(九大院理) 横山拓史(九環協) 天日美薫

実習 (8月7日・8日, 9:30～16:30,

各日1コース, 2日間で計2コースを選択)

1. ガスクロマトグラフィー(GC)

(九大院農) 下田満哉・井倉則之

- A. 化合物の同定(保持指標、マススペクトル)
- B. 定量分析(内標準法)
- C. 試料導入法(スプリット法、スプリットレス法)
- D. 香気成分のサンプリング(固相マイクロ抽出法)
- E. 食品の香気成分分析(GC-MS法)

2. 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)

(九大院薬) 浜瀬健司・三次百合香

- A. 逆相HPLCの基礎実習と実試料分析  
(医薬品・化粧品分析)
- B. HPLC機器の内部構造とメンテナンス
- C. HPLC用超純水製造装置
- D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析
- E. 簡易固相抽出器による自動ハイスルーブット前処理

F. 逆相カラムの違いと最適カラムの選択

G. 高極性化合物の分析を改善するカラム選択法

H. イオンクロマトグラフィーとLC-MSを組み合わせることで広がる分析例と応用分野

I. 卓上小型MS検出器ACQUITY QDaを用いる新感覚LC-MS分析

J. 超臨界流体クロマトグラフィー/円二色性検出法を用いたキラル分離

3. 原子・分子スペクトル分析法(AAS)

(九大院理) 横山拓史・岡上吉広

- A. 微量成分分析のための基礎(講義)
- B. フレーム原子吸光法における化学干渉とその除去
- C. フレーム原子吸光法における分光干渉とその除去
- D. 吸光光度法による鉄の酸化数別定量

4. 誘導結合プラズマ質量分析(ICP-MS)

(九環協) 天日美薫

- A. 固相抽出等の前処理
- B. ICP-MSによる微量分析

ランチョンセミナー(8月7日・8日, 12:00～13:00)

情報交換会(8月7日, 16:45～18:45,

九州大学伊都キャンパス)

使用機器 日本分光, 日立ハイテックサイエンス, サーマフィッシャーサイエンティフィック, ジェイ・サイエンス, 東ソー, 島津製作所, エムエス機器, 資生堂, 日本ウォーターズ, ジーエルサイエンス, メルクミリポア, オルガノの提供による最新機器

参加費 主催・共催会員 30,000円,

会員外 40,000円, 学生 10,000円

申込方法 申込の件名を“第55回分析化学講習会申込”として, 以下の項目(①～⑥)を明記し, E-mail または FAX でお申し込み下さい。当方から受付番号をお知らせしますので, 参加費を下記口座にお振込み下さい。その際, 振込み人氏名の前に受付番号を必ず記入して下さい。①受講者氏名, ②所属, ③連絡先(郵便番号, 住所, TEL, FAX, E-mail), ④第1, 第2希望の実習コースの組み合わせ(GC, HPLC, AAS, ICP-MSの4コースから2コースを選択), ⑤所属する主催および共催学協会(複数回答可)

注意 a. やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更することがあります。b. 各実習コースは定員制ですので、お早めにお申し込み下さい。また、実習コースがご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。c. 参加費の入金の確認をもって申し込みを受理いたしますので、参加者の名前を必ず記載して下さい。d. 会員には、勤務先が維持会員、特別会員、公益会員の方も含まれます。e. いったん納入された参加費の払い戻しは致しません。

申込締切 7月11日(金)

□ 座 名義：第55回分析化学講習会

福岡銀行 金融機関コード：0177

店番：213 預金種目：普通 店名：県庁内支店

口座番号：1165573

申込先 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 九州大学

大学院薬学研究院 創薬育薬産学官連携分野内

第55回分析化学講習会事務局

[E-mail : bunkou55@phar.kyushu-u.ac.jp, FAX : 092-642-6598]

問合先 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 九州

大学大学院 薬学研究院 創薬育薬産学官連携分野

実行委員長 浜瀬健司 (TEL&FAX 092-642-6598)

副実行委員長 第一薬科大学・増田寿伸

(TEL 092-541-0161, ex 394)

庶務幹事 第一薬科大学・横山さゆり

(TEL 092-541-0161, ex 394)

会計幹事 福岡大学・巴山 忠

(TEL 092-871-6631, ex 6674)



8月6日から8日にかけて、第55回分析化学講習会が九州大学伊都キャンパスで開催されました。参加者は60名で例年とほぼ同様であり、西日本全域から多くの方々にご参加頂きました。今年度は福岡市産学連携研究センターが使用できなかったため、初日の講義は伊都キャンパス・CE40棟、多目的セミナー室で行いました。下田先生によるGCの講義の後、浜瀬がHPLCの講義を担当させて頂き、横山先

生と天日先生に原子・分子スペクトルを講義して頂きました。

2日目はGC、HPLC、AAS、ICP-MSの実習が実施され、お昼にはメルクミリポアさんによるランチョンセミナーが開催されました。また、実習終了後には情報交換会が開催され、約100名の参加者が活発な情報交換、議論を行いました。なお、本年度は松井支部長に加え、肥後次期支部長にも鹿児島からお越し頂き、御挨拶を頂きました。

3日目は、引き続きGC、HPLC、AAS、ICP-MSの実習が実施され、お昼にはオルガノさんによるランチョンセミナーが開催されました。例年、ランチョンセミナーは水、溶媒系の2社さんに実施して頂いておりましたが、水や溶媒は機器分析の生命線であり、大変良い企画であると思います。3日目の実習終了後には、HPLC終了試験が実施されました。これは、日本分析化学会認定資格である「HPLC分析士」の試験免除が認められるものであり、関東地区以外では唯一、九州支部の分析化学講習会で実施されています。受験は任意ですが、HPLC受講者の98%が終了試験を受験し、皆様の意識の高さを感じました。

本年度の講習会実施日程では、丁度大型の台風が九州に近づいておりましたが、交通機関の運休、欠航等は会期中には発生せず、無事に全会期を終了することが出来ました。ご参加頂きました皆様、御協力頂きました企業の方々、惜しみない御助言と御助力を頂きました九州支部の先生方にこの場をお借り致しまして感謝申し上げます。 [浜瀬健司]





主催 日本分析化学会九州支部  
協賛 サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)  
          (株)ジェイ・サイエンス・ラボ  
テーマ：有機・無機の環境分析に関する新技術紹介  
日時：(福岡会場)平成26年6月17日(火)13:10-  
          (鹿児島会場)平成26年6月18日(水)13:20-  
開催場所：(福岡会場)九州大学箱崎キャンパス内  
          (創造パビリオン2Fゼミナール室)  
          (鹿児島会場)かごしま環境未来館(2F 会議室)

演題(講師)：

- ・LC-MSによる水質分析の最新技術(サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)(クロマトグラフィ&MS事業部) 関口 陽子)
- ・高分解能・高質量精度LC/MSによる未知物質の探索方法(鹿児島大学大学院理工学研究科(工学系) 高梨 啓和)
- ・PM2.5関連化学物質の分析からみる大気化学(熊本大学大学院自然科学研究科(理学系) 戸田 敬)
- ・ICP-MS用気体試料導入装置について—大気中微量金属元素のリアルタイムモニタリング—(株)ジェイ・サイエンス・ラボ(技術部) 西口 講平)

問合せ先：(株)ジェイ・サイエンス西日本 川上  
          TEL：092-611-9161           FAX：092-611-9165



# 行事案内

❖ 日本分析化学会第63年会 ❖

期日：2014年9月17日(水)～19日(金)  
会場：広島大学東広島キャンパス

9月17日：依頼講演(口頭)，一般講演(口頭)，  
若手講演(ビギナー口頭，ポスター)，テクノレ  
ビュー講演(口頭)，受賞講演，研究懇談会講演，  
特別シンポジウム，ランチョンセミナー，ミキサ  
ー

9月18日：一般講演(口頭)，若手講演(ビギナー  
口頭)，テクノレビュー講演(口頭)，研究懇談  
会講演，特別・公開シンポジウム，学会賞等授賞  
式，受賞講演，懇親会，ランチョンセミナー

9月19日：一般講演(口頭，ポスター)，若手講演  
(ビギナー口頭)，研究懇談会講演，特別・公開  
シンポジウム

【第1回アジア分析科学シンポジウム2014】  
(1st Asian Symposium on Analytical Sciences)  
日時 9月17日～19日

【特別公開シンポジウム(「産業界における研究開発  
と分析ソリューション」シンポジウム)】—企業の研  
究開発を最前線でリードする分析化学  
日時 9月17日(水)13:30～17:30

【特別シンポジウム：異分野との接点を求めて】

- <第一部> 「単一分子分光の最先端」  
日時 9月17日(水)(9:50～12:00)
- <第二部> 「核酸・バイオ研究と分析化学」  
日時 9月18日(木)(10:00～12:00)
- <第三部> 「放射光分析の新手法・新応用」  
日時 9月19日(金)(9:30～12:00)

日本分析化学会第63年会実行委員会事務局  
〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1  
広島大学大学院理学研究科 分析化学研究室内  
E-mail：nenkai63@hiroshima-u.ac.jp

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/63/index.html>  
詳しくはウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください



❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2014年支部講演会・見学会は佐藤 正雄 副支部長（福岡市環境局保健環境研究所）が中心となり準備を進めています。本年度は、11月14日、福岡市環境局保健環境研究所（福岡市中央区地行浜 2-1-34）の予定です。詳細が決まり次第、支部ウェブサイトにてご案内いたしますので、楽しみに。

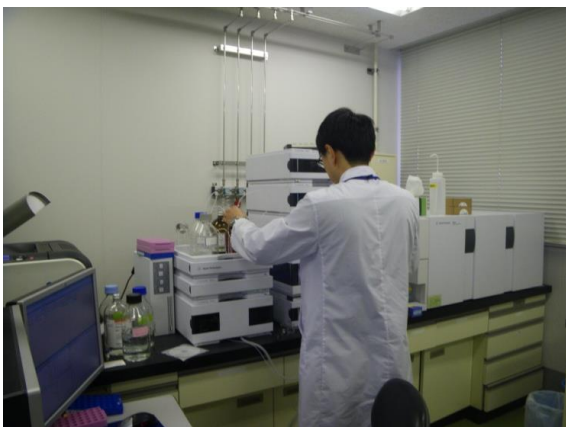
この研究所は、平成9年に福岡市中央区地行浜、博多湾を望む“ヤフオク！ドーム”の隣に建設されました。



福岡市保健環境研究所の外観

この周辺には、海浜公園、福岡タワー、元寇防塁、ドームでの野球観戦やコンサート開催、HKT劇場など史跡・名所や文化施設があり、市民の皆さんだけでなく、多くの観光客でにぎわう人気のエリアです。

このような環境の中、私たちは市民の健康と環境の安全・安心を守るため、日々試験・研究に取り組んでいます。



農薬類の分析

当研究所の業務は、大きく保健部門と環境部門に分かれています。

【保健部門】

食中毒・感染症等の検査及び調査研究、食品添加物、残留農薬、心ぐ毒等の自然毒の検査及び調査研究

【環境部門】

大気、水質、生物、廃棄物関連の検査及び調査研究

【主な調査研究】

鶏肉の食中毒菌に関する研究、食品中の残留農薬の一日摂取量調査、博多湾の物質循環に関する研究、PM2.5の成分分析、特定外来生物に関する調査、熱中症予防に関する調査

今後も多様化する市民ニーズに応えるために、本市の保健環境分野での中核的な試験研究機関として役割を果たしていく必要があります。

また、当研究所の1階には、市民向けの保健環境学習室「まもるーむ福岡」を設置し、保健衛生・環境に関する情報を発信及び学習の場を提供しています。

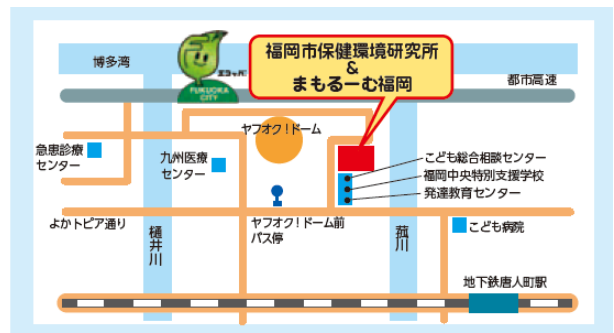
この「まもるーむ福岡」では、小学生等を対象とした科学実験や工作などの体験型イベントを開催しており大変好評を得ています。



まもるーむ福岡での実験風景

今回の施設見学会では、保健環境研究所の研究施設のほか、「まもるーむ福岡」の見学も予定しています。

博多湾とヤフオク！ドームの眺めが素晴らしい、当研究所へ是非お越しください。



❖ The 19th International Conference on Flow Injection

Analysis Including Related Techniques (ICFIA)

❖ 第19回フローインジェクション分析に関する国際会議 ❖

期日：2014年12月1日（月）～5日（金）

会場：アクロス福岡（福岡県福岡市）

主催 日本分析化学会フローインジェクション  
分析研究懇談会

討論主題 フローインジェクション分析法並びに関連する流れ分析法による新しい分析技術及びその応用について議論する。(1)FIA/SIAの新技术,(2)化学分析の自動化,(3)化学形態別分析,(4)環境分析,食品分析,臨床分析などへの応用,(5)安全と安心のための計測化学など。

発表形式：口頭発表,ポスター発表

使用言語：英語

問い合わせ先：〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学工学研究科応用化学部門内 日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会事務局

TEL&FAX：092-802-2889

E-mail：imato@cstf.kyushu-u.ac.jp

❖ 第37回溶液化学シンポジウム ❖

期日：2014年11月11日（火）～14日（金）

会場：アバンセ（佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター）（佐賀市天神 3-2-11）

主催 溶液化学研究会

討論主題 溶液の物性と構造,溶液内の分子間相互作用と分子構造,生体分子と水,イオン液体,溶液反応などの溶液に関する諸問題

詳細は,

<http://ccl.scc.kyushu-u.ac.jp/sscj37/sscj37/Top.html>

問い合わせ先：〒840-8502 佐賀市本庄町 1

佐賀大学大学院工学系研究科 循環物質化学専攻  
高椋 利幸

TEL：0952-28-8554, Fax：0952-28-8548

E-mail：sscj37@ce.saga-u.ac.jp

❖ 日本分析化学会第64年会 ❖

2015年の日本分析化学64年会は、九州大学（伊都キャンパス）で開催されます。（日時2015年9月9日（水）～11日（金））

日頃の研究活動の成果を発表しましょう！

また、実行委員長の山田淳先生より、特別シンポジウムの募集が来ております。

（1）シンポジウムの形態：非公開,公開  
（公開の場合は、できれば最終日の午後をお願いいたします。また、マスコミ対応などについてもご検討をお願いします）

（2）募集数：3-4件（採否は実行委員長に一任）

（3）ご希望時間帯（時間は半日をお願いします）

（9日：午前か午後,10日：午前中,11日：午前か午後）

（4）200人規模の会場を実行委員会準備します。

（5）構成はオーガナイザーに一任します

（6）締切：10月末

（7）講演者,謝金などの計算等

旅費などについては、会計担当と相談。（非会員は旅費を出せるが、できるだけ、会員に講演してもらう）

ついでに、以下の情報を、10月31日までに、山田先生（yamada@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp）あてお送り下さい。

---

日本分析化学会64年会における特別シンポジウム希望

1. タイトル名

2. 概要（100-200字程度）

3. オーガナイザー：

ご氏名,ご所属,役職,E-mail,電話

4. 希望日時：

5. 公開,非公開の区別

---

# 事務局より

## ❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。



## ❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞ協力下さい。

## ❖ 編集後記 ❖

支部ニュースの発行を1か月程遅らせてみました。深い理由があり、悩みましたが、吉となることを願っております。目的は「活性化」です！

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しており、次の31号は2014年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。まだまだ残暑の日々が続きますが、どうぞ御自愛の上、お仕事・勉学に励んでください。(副支部長・井上)



## 2014 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院

支部長	松井 利郎 (九州大学大学院農学研究院) tmatsui@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-642-3011
副支部長	井上 高教 (大分大学工学部) tinoue@oita-u.ac.jp / 099-285-8341
副支部長	佐藤 正雄 (福岡市環境局保健環境研究所) Satou.m03@city.fukuoka.lg.jp / 092-831-0683
庶務幹事	井倉 則之 (九州大学大学院農学研究院) igura@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-642-3016
会計幹事	田中 充 (九州大学大学院農学研究院) mitsurut@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-642-3013